

## 令和5年度 第1回浦安市郷土博物館協議会議事録

1 開催日時 令和5年7月19日(水) 14時～16時

2 開催場所 郷土博物館 視聴覚室

### 3 出席者

(委員) 明保治男委員長、舘里枝副委員長、大村洋子委員、鈴木孝一委員、前田智幸委員、吉野忍委員、男全寛子委員

(事務局) 教育次長、生涯学習部長、生涯学習部次長、郷土博物館長、郷土博物館職員4名

(傍聴人) なし

### 4 議 事

#### 1. 開会

- (1) 委嘱状の交付について
- (2) 教育委員会あいさつ
- (3) 正・副委員長の選出について
- (4) 正・副委員長あいさつ

#### 2. 議事

報告事項(1) 令和4年度 郷土博物館事業報告

(2) 令和5年度 郷土博物館事業計画

(3) 夏休み企画展 「もっと知りたいふるさと浦安」開催案内

その他

### 5 会議経過

会議に先立ち、委嘱状の交付を行った。交付後、教育次長、各委員があいさつを行い、事務局紹介を行った。

引き続き正・副委員長の選出を行い、委員長に明保治男氏、副委員長に舘里枝氏が選出され、それぞれあいさつを行った。

### 議 事 報告事項

#### (1) 令和4年度 郷土博物館事業報告

配付資料に基づき、事務局より説明した。

主な質疑・応答については、下記のとおり。

(委員) 昨年度はなかなか事業もできなかったと思うが、実際のところはどうか。

(事務局) 昨年度は、コロナ禍で制約がある中でも、学校や教員と連携し事業を行うことができた。また、ジュニア学芸員が、新たな博物館の担い手として活動している。学校単位で来館する場合、同じ学校・学年での活動となるが、ジュニア学芸員の活動では、様々な学校・学年、小中学生が交流しながら、工夫しながら活動してきた。

- (委員長) 前回の会議で、来館者数等を他の博物館と比較できるとよいとの意見があり、今回資料が提出されているが、これについてはいかがか。
- (委員) やはり、近隣市の博物館よりも1日平均の来館者数が多く、それだけ活用があるということなので、ぜひアピールして欲しい。
- (委員) ジュニア学芸員の活動は画期的であるが、もやいの会についてはどうか。
- (事務局) 近年は、昔のように続けるのは難しい部分もある。今後は、第1期埋立地に住んでいる方々に「自分たちは上の世代からこのように聞いている」という話を次の世代に繋げてもらい、新たなボランティアの育成に努め、世代交代をしていきたい。
- (委員長) 事業計画にもあるように、ボランティアの発掘・養成、伝統文化の継承が大事であると思う。

## (2) 令和5年度 郷土博物館事業計画

配付資料に基づき、事務局より説明した。  
主な質疑・応答については、下記のとおり。

- (委員長) ジュニア学芸員の周囲からの評価はどうか。
- (事務局) 好評の声をいただいている。ジュニア学芸員が、土日に博物館で頑張っていることを、クラスの担任の先生にも認知していただいている。来館者からジュニア学芸員に直接声をかけていただくこともあり、子どもたちの自己肯定感が高まっていると感じている。ジュニア学芸員をやってよかった、という声を聞いているので、それが自信に繋がって、次に繋げてもらいたいという思いで取り組んでいる。
- (委員) スペシャル学芸員について、どのような専門講座を増やしていくのか。
- (事務局) 昨年度は展示分野、ベカ舟分野を実施し、今年度は引き続きベカ舟分野を実施している。今後、保存会にご協力いただき、ジュニア学芸員による伝統文化の継承ができないか検討している。
- (委員) 今は教員も浦安の歴史を知らないということが課題であると思っており、解決していく必要があると思う。  
歴史とは語りの文化の中で伝わるものであり、絵巻物のような形で子どもたちの頭の中に入れていく必要があると思う。特に郷土史は、おじいちゃん達が頑張ってきたんだ、という歴史が見えることによって、郷土愛が生まれて、この街に対して自分は何ができるだろうか、ということを考えられるようになると思う。博物館を核に、教員にも現状をよく理解してもらって、いかにして歴史を伝えていくか、ということを考えて欲しい。その方法の一つとして、ジュニア学芸員はよいと思う。自分たちが生まれ育ったところについて、自信をもって、自分で説明できるようになることで、この街をどうしていきたいか、という力が生まれてくると思う。
- (委員長) 博物館では、これまでも学校と教員と連携して運営をしてきてくれたと思う。委員のご意見を受け止めて、さらにより方向にしていってほしい。
- (事務局) 様々な課題があり、町全体の人口の組成も変わってきているので、それに見合った展示や活動の方法を考え、報告できるようにしていきたい。
- (委員) 教育現場から述べると、小学校3・4年生で浦安の歴史を扱う際、担当の教員は教材研究を行うが、担当となるのが数年に一回というのが現状であ

る。また、小中学校の教員からなる郷土博物館活用推進委員会でも、開館前から、博物館をどう活用し学校と連携していくかということを検討してきており、年に5回会議を開催している。中学校だと、2年生で地域の学習があるため、社会科の教員が中心となり、指導のために勉強している。

- (委員) 学校に講演に行くので、ぜひ声をかけてほしい。学校で講演をして子どもたちのアンケートを見ると、子どもたちの歴史観がよくわかる。社会科の教員でも、浦安の歴史に詳しい人は少ないと思っている。街の歴史に詳しい人を学校に呼ぶなどして、ぜひ学んでほしい。
- (委員) 浦安の歴史コースや、海の生き物コースを作るなど、スペシャルジュニア学芸員講座を活用して、博物館を通じて、歴史を学べたらよい。

### (3) 夏休み企画展 「もっと知りたいふるさと浦安」開催案内

配付資料に基づき、事務局より説明した。  
質疑については、特になし。

### (4) その他

委員からのご意見について、事務局より説明した。  
主な質疑・応答については、下記のとおり。

- (委員) 後継者が少ないことが3つの保存会共通の課題であると思うが、囃子保存会では、今年度の予算で会員募集のチラシを作る予定である。三社祭りの際に入会する方が多いので、そこをターゲットにしていきたい。博物館とも協力して、後継者育成を具体的に考えていきたい。
- (委員) 子どもが小学生の頃にジュニア学芸員として認定を受けたが、中学生になると部活が主体になるので、参加の機会が少なくなり残念である。ジュニア学芸員の活動の中で、様々な方とコミュニケーションを取ってほしい。子どもからは、自分たちで台本を考えたり、企画をやってみたいということを知っているから、自分たちで考えるものがあると楽しいのではと思う。
- (委員長) 小学校3年生で昔の生活を学び、4年生では、地域の開発教材というものがあり、そこで黒い水事件のことや、浦安がどのような開発をしてきたかなどを学ぶ。その後6年生で日本の歴史を学び、中学校2年生で、地域を対象にした社会の学習がある。総合的な学習など、自分で課題を見つけて自分で追求していく学習と、この地域学習、そして「もっと知りたいふるさと浦安」展がうまくリンクしてきて、一つのいい形にできていると思う。
- (委員) 教員は多忙だとは思いますが、フィールドワークとして、現場で様々な話を聞く機会があるとよいと思う。教員が現場で過去の風景を想像してみても得た感動が子どもたちに伝われば、今度は子どもたちが「先生と調べてみようかな」と考えるのではないかな。そういう風に発展していけるとよい。
- (委員) 中学校の歴史教育で、ぜひ浦安と環境について取り上げてほしい。子どもたちはタブレットでの提案が上手なので、発表できる機会があるとよい。伝統芸能についても、学んだことを人前で発表することも大切である。
- (委員) 小中学生の間に、学校の授業で来館する機会は何れくらいあるのか。また、ジュニア学芸員について、地域による参加者の偏りはあるのか。

- (事務局) 市内全校で、小学校3年生で昔の暮らし体験、4年生で海苔すき体験があり、この機会に必ず来館する。そのほか、希望制の出前授業で、6年生の火おこし体験がある。今年度は14校で実施し、来年さらに増えるのではと考えている。中学校では、学校単位で来館する機会がないのが現状である。ジュニア学芸員については、学校規模によって参加者数の偏りがあり、地域差よりは母数の問題であると考えている。日の出や明海など、館から離れた学区の生徒も参加している。
- (委員) 博物館は、ここに来たら歴史がわかる、という場所で、そこで歴史の話が聞けたら、もっと深く学ぶことができる。中学校でも、一回でも来館し話を聞く機会があるとよい。
- (事務局) 中学校は学校単位で来館する機会がないことは、開館当時から課題でもある。しかし、中学校の活用推進委員の教員が作成した「浦安を学ぼう」というカリキュラムの中で、浦安の環境問題や、「黒い水事件」について学ぶ機会があり、昨年は、道徳の授業内で、中学校4校、19学級で実践された。授業等で来館する機会がない分、学校内での授業や、長期休暇の時に個人で来館するなど、地域学習の中での活用が見られる。そのほか、博物館でボランティアを紹介して、学校で話をしてもらい機会をつくることもできると思うので、次回会議で今年度の取り組みについて報告したい。
- (委員) 長期休暇に、一回でも博物館に行ってみるといいうようにできたら、学校のカリキュラムを圧迫するようなこともなく、来館するよい機会になる。
- (委員長) 博物館がより充実して、子どもたちのためになるものであるために、職員と委員でより良いものにしていけたらと思う。

## 閉 会

以上をもって、令和5年度 第1回浦安市郷土博物館協議会は、閉会した。  
閉会后、準備中の「もっと知りたいふるさと浦安」展の視察を行った。